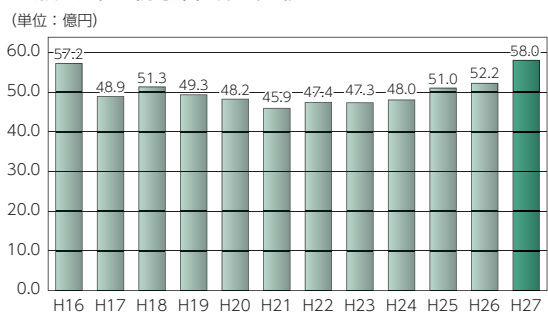


江刈小学校改築など大型事業が集中

一般会計当初予算額の推移



27年度の一般会計当初予算は、58億167万円
で前年度に比べて5億8
163万円、11・1%増
加しました。

一般会計

歳入は、全体の約5割を占める地方交付税が、30億1000万円の前年度に比べて4000万円、1・3%増えました。国・県支出金は8億659万円の前年度に比べて1億6062万円、22・8%増加しました。補助事業などの増によるものです。

町税などの自主財源の割合は13・9%にとどまり、地方交付税などの依存財源に頼る財政構造です。引き続き自主財源の確保に努める必要があります。



昨年7月に開催した、江刈小学校と 津軽石小学校（宮古市）との交流事業

3月定例会議

3月定例会議は、3月6日から16日までの11日間の日程で行われました。冒頭、鈴木町長が施政方針を、次に千葉教育委員長が教育行政方針の演述を行いました。

町長から提出された議案は、27年度一般会計予算や看護職員等養成修学資金貸付条例の制定など31件、議員発議案の議会総合条例の改正など2件が提出され、すべて全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。

一般質問では4名の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。

27年度予算
総額89億円

施設整備に重点予算

安心して住み続けたいまち
一歩先ゆく山村に



長 鈴木 町 施政方針 (要約)

27年度は国の総合戦略が始まり、これまでの施策の拡充のほか、新たな施策の展開などにより「安心して住み続けたいまち」としての環境を整え、移住者や定住者の増加を図ります。

ハード事業では、江刈小学校校舎改築、総合運動公園多目的グラウンド改修、葛巻病院改築工事、町道茶屋場田子線道路改良、清掃センター大規模改修事業などに取り組みます。

ソフト面では葛巻高校山村留学事業、看護職員等養成修学資金貸付制度の創設、高校生への医療費無料化、妊婦への助成金、60周年記念に関連した各種事業など、新たな取り組みを行います。

27年度は合併から60周年を迎えます。皆さんと積み重ねてきた60年の歩みを共に祝い、「今(とき)をつないで未来へ」をキャッチフレーズに、各種記念事業などを展開し、一年間を通して60周年を町民の皆さんとともに盛り上げていきます。

特別会計

5つの特別会計の当初予算総額は、31億1371万円の前年度に比べて2億4557万円、8・6%増加しました。

葛巻病院の改築事業と江刈簡易水道整備事業が本格的に進むためです。各会計の予算額は、左の表のとおりです。

特別会計当初予算額

会計名	予算額
国民健康保険事業	12億6160万円
簡易水道事業	5億9578万円
農業集落排水事業	1億9446万円
後期高齢者医療事業	7049万円
国民健康保険病院事業	9億9138万円
合 計	31億1371万円

歳出は、江刈小学校校舎改築や町道茶屋場田子線道路改良、清掃センターの大規模改修などのハード事業により、※1投資的経費が前年度に比べて4億5251万円、56・8%増加しました。施設整備に重点的な予算編成です。

一方、人件費は前年度に比べて753万円、1%の減少、公債費(借金返済額)は前年度に比べて1642万円、2・5%減り、※2義務的経費を抑制しました。

一般会計予算の詳しい内訳は、3〜4ページをご覧ください。

※1 投資的経費：施設建設など将来残るものにかかのお金。
※2 義務的経費：支出が義務づけられ、簡単に削減できないお金。